

# 保健分野ワークシート解答

保健編3章 教科書p.64-65(障害の発生要因)

1やってみよう資料1を見て、中学生の死亡原因にはどのような特徴があるか、書き出してみよう。

(例)①全年齢の死亡原因では、がん、心臓病、肺炎、脳卒中など、病気による死亡が多い。0 14 歳でも、がんによる死亡が最も多いが、死亡事故が第 2 位、自殺が第3位となっている②事故による死亡は、交通事故によるものが最も多く次いで、水死、転倒・転落などとなっている。

2資料3を参考に、傷害の起こる人的要因と環境要因を例を挙げてまとめてみましょう。

◇人的要因

(例) 寝坊して、焦って登校する。  
歩きながらスマートフォンなどを使う。  
体調不良。  
よそ見運転、脇見運転。

◇ 環境要因

(例) 水がこぼれている、滑りやすい廊下。  
柵のない狭いホーム。  
風が強い。  
雪が凍結した道路。

3考えてみよう例1～3について、事故や傷害が起きた人的要因と環境要因を考えてみましょう。

	人的要因 <small>じんてきよういん</small>	環境要因 <small>かんきやういん</small>
[例1] 部活動中	(例) 周囲に注意を向けていない。 安全を確認しないで運動を始めた。 危ない状況にもかかわらず、それを 教えていない。	(例) 近くに走り高跳びの用具が置いてある。 グラウンドが狭い。
[例2] 登校中	(例) 遅刻しそうで焦っている。 スピードの出し過ぎ。 注意力が欠けていた。	(例) 道路の整備不良。 自転車のブレーキの利きが悪い。
[例3] 大雨の後	(例) 大雨の後なのに、川の増水に注意を向けていない。 大雨の後なのに川沿いの道を選んで いる。 話に夢中で回りが見えていない。	(例) 大雨による増水。

保健編3章 教科書p.66-67(交通事故の発生要因)

1

やってみよう資料1を見て、中学生の交通事故にはどのような特徴があるか、書き出してみましょう。

(例)自転車運転中の事故が約3分の2を占めており、最も多い。自転車運転者の不注意による事故としては、安全不確認や一時不停止などが多い。

2

交通事故の人的要因環境要因車両要因についてまとめてみましょう。

◇人的要因

(例)体の状態(体調不良, 睡眠不足など)。心の状態( 焦り, いらいらなど)。  
危険を予測する能力の不足。ルールを守る態度の欠如。

◇環境要因

(例)道路(狭い, 見通しが悪い, 凹凸がある, 急カーブなど)。交通安全施設(信号機, 横断歩道, 道路標識, ガードレールがない など)。気象条件(強風, 雨, 雪, 夜間の暗さ, 太陽やライトのまぶしさなど)。

◇車両要因

(例)車両の特性(車は急には停止できない, 自動車の死角, 自動車の内輪差など)。車両の欠陥や整備不良(ブレーキが利かない, ライトがつかない, タイヤのパンク, 反射板が付いていないなど)。

3

資料3と教科書 p. 86「自転車安全利用五則」をもとに、自転車の特性と安全利用についてまとめてみましょう。

◇自転車の特性

二輪のためバランスを崩しやすい。  
体が露出しているため、事故が起こるとけがをしやすい。

◇安全利用

(例)自転車は車道を走るのが原則で、車道を走るときは左側を走る。歩道を走るときは歩行者優先で車道寄りを徐行する。二人乗り、並進は禁止、夜間はライトを点灯する、信号を守る、交差点での一時停止と安全確認など安全ルールを守って運転する。

4

考えてみようAさんが運転する自転車と自動車との衝突事故について、事故の人的要因と 環境要因を考えてみましょう。

◇人的要因

(例)Aさんは、相手からも見えていると判断し(車が止まってくれると思い込んで)、速度を落とさずに走行した。

◇ 環境要因

(例)高い建物があって見通しが悪かった。

(自動車運転者は、一時停止するとき、右側から車が来ないか注意しつつ、停止線を超えて停止したため、左から来た A さんに、気がつかなかった。